

【別紙】

日 ASEAN 財務大臣・中央銀行総裁会議の開催について (2017年5月5日)

ASEAN 発足から 50 年の節目にあたる本年、4 年ぶりに日 ASEAN 財務大臣・中央銀行総裁会議を開催しました。近年、ASEAN 金融統合等が進む中、ASEAN と日本は世界経済のエンジンであるアジアの中核をなしています。そうした中、会議において、日 ASEAN が次の 50 年間もともに持続的な経済成長を遂げるために、経済・金融協力を一層強化していくことを確認しました。日本としては、①域内金融の強靱性の向上、②日 ASEAN 経済統合のための域内物流・投資の促進、③ASEAN 経済統合の深化のための格差是正、という 3 つの柱に沿って、以下の貢献策を提案したところであり、今後実施していく予定です。

【1. 域内金融の強靱性の向上（金融セーフティネット強化と現地通貨使用促進）】

- ・ ASEAN 金融統合や日本企業の進出等により経済の結びつきが強まる中、域内のクロスボーダー取引における現地通貨の利用促進を図っていくことが中長期的に重要。ASEAN 域内で円の調達をしやすくすることは、域内の一層の金融安定に貢献。さらに、昨今の世界経済の不透明性などを踏まえ、域内の金融セーフティネットを強化する必要がある。そうした点を踏まえ、今般、既存の二国間通貨スワップ取極（BSA: Bilateral Swap Arrangement）を円で引き出し可能とするとともに、短期流動性危機に対応する、最大 4 兆円規模の新たな BSA（円・ドル選択可）を創設。
- ・ 域内の金融セーフティネットの強化のため、タイと BSA を締結し、マレーシアと BSA 締結を基本合意。
- ・ 邦銀の域内現地通貨の調達困難時の備えとして機能するクロスボーダー担保取極（CBCA: Cross Border Collateral Arrangement）の締結を日本銀行と各国中央銀行との間で推進する。ASEAN 諸国の金融市場の安定性を向上させることを通じ、域内における現地通貨建て取引の拡大に貢献。

【2. 日 ASEAN 経済統合のための域内物流・投資の促進】

- ・ ASEAN 経済共同体に向けた実施計画を踏まえ、各国の実情にあわせた税関の技術協力を強化し、域内の切れ目のない物流（seamless movement）を促進。
- ・ ASEAN 諸国の更なる経済発展に貢献するため、健全な投資・経済交流を促進することを目的とした租税条約の締結・改正を進めることにより、日本企業による投資拡大を支援。

【3. ASEAN 経済統合の深化のための格差是正】

- ・ 自然災害に脆弱なカンボジア、ラオス、ミャンマーが災害発生時に必要な資金を迅速に確保できるよう、世銀の技術的サポートを得ながら、災害リスク保険ファシリティ（SEADRIF：South East Asia Disaster Risk Insurance Facility）の早期創設を支援。
- ・ 今後開発金融機関による譲許的融資対象国からの卒業が見込まれる国に対し、国債市場の整備を通じ、近い将来に市場からの資金調達を円滑に行えるよう、金融市場整備に係る技術支援を強化。

（以 上）